

旧世界におけるガイドスピリットと守護神 まとめ

★人間は生まれてくるときに6つのスピリットと紐付けられています

人間は生まれるときに、6つのスピリット(エネルギー体)と紐付けられます。

★5つのガイドスピリットについて

そのうち、5つのスピリットが人間として生きることをサポートする役割を担います。

これらをまとめて由似の世界ではガイドスピリットと呼んでいます。

また由似の世界では、便宜上、それぞれの存在を次のように呼ぶことにしています。

1)産土神[うぶすながみ]…光担当の神様

2)守護天使…光担当の守護天使

3)守護霊[ガイド]…ストーム由来の情報エネルギー体

4)逆天使…闇担当の守護天使

5)産土神[うぶつちがみ]…闇担当の神様

★魂の大元、ストーム

ガイドスピリットとは別に6つめのスピリット、守護神の存在があります。

6)守護神…魂の大元のエネルギー体(地球の心)／ストーム(激しい渦) から生まれる魂との相談者

★魂と6つのスピリットが結び付けられる時期

生まれるときにと書きましたが、厳密にいうとそれぞれ時期がことなります。

まず魂の大元(ストーム)から魂が生じる許可がおりると守護神がつかます。

守護神がつくと、人間として生まれる準備に入ります。

それから産土神2体が紐付けられ、守護天使2人は、追々割り当てられていきます。

守護霊(ガイド)は2体の産土神と2人の守護天使によって相談されつけられるのですが、だいたい生まれる前につけられます。

補足)

逆天使、産土神[うぶつちがみ]という名前は、闇担当のガイドたちの名前を、光担当と区別するために、本人たちが自己申告した名前です。

守護神と守護霊[ガイド]はこの世を上手くわたっていくための**コンサルタント**。
光担当のガイドスピリットは担当者の心の安定を図る導きをする**ガイドガーディアン**。
闇担当のガイドスピリットは、担当者の憂いを払拭し願いを実現しようとする**コーディネーター**。

